

第4章 道外図書館先進事例

高齢者・障がい者サービスに関して、道外図書館の実践から特に紹介したい先進的な事例について、次の図書館に個別に聞き取り調査を行い、まとめたものである。

館名	(人口)
・岡山県立図書館	1,913,556人 (H29年1月)
・枚方市立図書館 (大阪府)	405,042人 (H29年1月)
・田原市図書館 (愛知県)	63,338人 (H29年1月)



岡山県立図書館

〒700-0823

岡山県岡山市北区丸の内2-6-30

TEL:086-224-1286 FAX:086-224-1208

人口：1,913,556人（H29年1月）

メディアセンターとしての図書館

岡山県立図書館は、情報社会における図書館の役割として、各種メディア情報を作成、集積、発信していく「メディアセンター」機能の充実に取り組んでいます。

「デジタル岡山大百科」
岡山県立図書館が提供するインターネット上で百科事典的に調べられる電子図鑑システムです。
<http://www.libnet.pref.okayama.jp/mmhp/>

岡山県立図書館情報検索システム
県内図書館が提供する書籍・雑誌・電子図鑑等のデジタルコンテンツを検索し、内容を閲覧できるシステム

電子情報ネットワークシステム
岡山県立図書館が提供するインターネット上で検索可能なデジタルコンテンツを検索し、内容を閲覧できるシステム

レファレンスデータベース
岡山県立図書館が提供するインターネット上で検索可能なデジタルコンテンツを検索し、内容を閲覧できるシステム

岡山県立図書館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-6-30
TEL:086-224-1286 FAX:086-224-1208
E-mail: libnet@libnet.pref.okayama.jp
ホームページ: <http://www.libnet.pref.okayama.jp/>

開館時間
図書部：平日9時～17時、土曜9時～15時、日曜・祭日10時～15時、年末年始・長期休暇は閉館
児童部：平日9時～17時、土曜9時～15時、日曜・祭日10時～15時、年末年始・長期休暇は閉館
資料部：平日9時～17時、土曜9時～15時、日曜・祭日10時～15時、年末年始・長期休暇は閉館

蔵書
図書部：約100万冊（うち児童図書約10万冊）
児童部：約10万冊（うち児童図書約10万冊）
資料部：約10万冊（うち児童図書約10万冊）

施設概要
敷地面積：約10,000㎡
延床面積：約10,000㎡
収容人数：約1,000人

岡山県立図書館

岡山県立図書館は、情報社会における図書館の役割として、各種メディア情報を作成、集積、発信していく「メディアセンター」機能の充実に取り組んでいます。

市町村（図書館・公民館図書室・読書グループ）への支援
岡山県立図書館では、全域サービス実現のため市町村に対し支援を行っています。

図書館ネットワークの構築
①情報のネットワーク：県内の図書館が所蔵している資料情報を一括検索できるシステムを構築しています。（図書館情報検索システム）
②蔵書のネットワーク：県内の図書館等の蔵書を検索機能によって図書館蔵書を選んでいます。（資料検索システム）
③電力供給：県内の図書館等へ図書館ネットワークを使い、図書館蔵書の貸出を行っています。
④インターネット利用：インターネットから図書館蔵書検索システムへアクセスできるがインターネットを介してのアクセスは、岡山県立図書館のサーバから行われ、アクセスの速度が向上しています。
⑤印刷サービス：県内の図書館等へ印刷サービスを提供しています。（印刷サービス）
⑥電子ブックサービス：県内の図書館等へ電子ブックサービスを提供しています。（電子ブックサービス）
⑦読書グループサービス：県内の図書館等へ読書グループサービスを提供しています。（読書グループサービス）
⑧レファレンスサービス：県内の図書館等へレファレンスサービスを提供しています。（レファレンスサービス）
⑨資料の貸出サービス：県内の図書館等へ資料の貸出サービスを提供しています。（資料の貸出サービス）

施設紹介 新しい世界が広がる図書館です

① 読書・文化、自然が一体となった地域の集積づくり
② 全11種類の情報拠点としての施設づくり
③ 人と環境にやさしい環境づくり

④ 閲覧室（児童資料）
子どもから大人まで利用可能な閲覧室を設けています。

⑤ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑥ 閲覧室（アパレルコーナー）
アパレルコーナーはインターネットを通じて最新のファッション情報を提供しています。

⑦ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑧ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑨ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑩ 読書・文化、自然が一体となった地域の集積づくり
⑪ 全11種類の情報拠点としての施設づくり
⑫ 人と環境にやさしい環境づくり

⑬ 閲覧室（児童資料）
子どもから大人まで利用可能な閲覧室を設けています。

⑭ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑮ 閲覧室（アパレルコーナー）
アパレルコーナーはインターネットを通じて最新のファッション情報を提供しています。

⑯ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑰ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑱ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

① エントランス
読書・文化・自然が一体となった地域の集積づくりを実現しています。

② カウンター
読書・文化・自然が一体となった地域の集積づくりを実現しています。

③ 自動貸出機
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

④ 閲覧室（児童資料）
子どもから大人まで利用可能な閲覧室を設けています。

⑤ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑥ 閲覧室（アパレルコーナー）
アパレルコーナーはインターネットを通じて最新のファッション情報を提供しています。

⑦ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑧ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

⑨ 閲覧室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

有料貸出施設

デジタル情報センター
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

多目的ホール
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

サークル活動室
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

メディア工房（撮影室）
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

メディア工房（編集加工室）
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

① エントランス
読書・文化・自然が一体となった地域の集積づくりを実現しています。

② カウンター
読書・文化・自然が一体となった地域の集積づくりを実現しています。

③ 自動貸出機
最新の電子情報サービスを中心とした閲覧室を設けています。

岡山県立図書館 有料貸出施設 使用料一覧（平成28年8月1日改定）

部 分	9:00～13:00	13:00～18:00	9:00～13:00	13:00～18:00	9:00～18:00
多目的ホール	12,000	17,000	21,000	17,000	21,000
サークル活動室1または2	7,500	10,200	7,500	10,200	6,950
サークル活動室1+2	2,810	3,480	2,810	3,480	2,810
メディア工房（撮影室）	8,220	9,940	8,220	9,940	8,220
メディア工房（編集加工室）	3,880	4,910	3,880	4,910	3,880
デジタル情報センター	6,600	8,800	6,600	8,800	6,600
デジタル情報センター	5,060	6,750	5,060	6,750	5,060

※13:00～18:00又は17:00～18:00の使用料は、13:00～17:00の使用料額の1/40に相当する。（110円未満は110円）
※多目的ホールの半室を使用する場合は、上記金額の1/2に相当する。（110円未満は110円）
※サークル活動室の半室を使用する場合は、上記金額の1/2に相当する。（110円未満は110円）

【サピエ】

- 平成23年からサピエサービスを開始した。
- 図書館を介しての個人利用登録者数は 0名。
- ダウンロードした録音データ等の貸出実績

	H25	H26	H27
登録者数	237	253	271
貸出件数 (ダウンロード点数)	4,720	4,863	5,280

【対面朗読】

- 平成16年から視覚障害者及び活字による読書が困難な方で、当館の障がい者等サービスの利用者登録を受けている方を対象に開始した。
- 対面朗読の実施回数（延べ人数）

	H25	H26	H27
実施回数	336	335	339

【録音図書等郵送サービス】

- 平成16年から視覚障害者及び活字による読書が困難な方で、当館の障がい者等サービスの利用者登録を受けている方を対象に開始した。
- 郵送費用については、図書館が全額負担している。
- 再生機の貸出の際、再生機器に関してのトラブルはないが、SDカードを紛失するケースがあり、その場合は、同等の物を弁償依頼している。
- 録音図書等郵送サービスの利用登録者数及び貸出件数

	H25	H26	H27
利用登録者数	237	253	271
貸出件数	615	794	999

【大活字本】

- 平成16年から埼玉福祉会発行分の全点購入を開始。以前も購入していたが全点ではなく、現在は他の出版社のものも購入しており、現在 4,181冊（H28.3.31現在）所蔵。
- 大活字本に係る費用

	H25	H26	H27
資料整備費	175,351,000	171,230,000	124,628,000
うち大活字本購入費	600,000	600,000	540,000

【各種リスト】

- マルチメディアデイジーリスト・LLリスト・ユニバーサル絵本リスト・高齢者向け紙芝居リストを関連イベントの際に作成・配布している。
- 上記リストをホームページ上で表示している。

【ボランティア】

- 対面朗読サービス及び当館が毎月発行しているサピエリストの音訳についてはボランティアに依頼している。
- 現在のボランティア数は30名。

【障がい者・高齢者サービスの現状】

- 障がい者サービスの利用については、市町村を經由したサービスより、直接利用する方が多い。
- 正規職員3人・臨的主事1人・臨時職員1人・嘱託職員4人が担当し、他の図書館業務と兼務している。
- 市町村図書館における障がい者サービス実施の普及・啓発、マルチメディアデイジーの利用促進、高齢者サービス全般について苦慮している。

【各種サービスの周知及び連携】

●周知

- ①サピエサービス・録音図書等郵送サービス・再生機等貸出サービス・大活字本貸出サービスについては、サービスのパンフレット・チラシ・図書館ホームページへの掲載により周知している。
- ②対面朗読サービスについては、図書館案内パンフレットへの掲載・サービスのパンフレット・チラシ・図書館ホームページへの掲載により周知している。

●連携

対面朗読サービスについては、岡山県視覚障害者センターと連携を行い取り組んでいる。



【総合案内板】



枚方市立図書館

〒573-1159
大阪府枚方市車塚2丁目1-1
TEL:050-7105-8141 FAX:072-851-0962

人口：405,042人（H29年1月）

【手話でたのしむおはなし会の様子】



【サピエ】

- 平成17年からサピエサービスを開始した。
- 図書館を介しての個人利用登録者数は11名。
- ダウンロードした録音データ等の貸出等実績

	H25	H26	H27
登録者数	90	90	103

個人への貸出 ()内はサピエ図書館	H25	H26	H27
デージー図書	5,497 (4,918)	5,689 (4,987)	6,074 (5,329)
テープ図書	613 (503)	498 (445)	304 (275)
録音雑誌 (デージー、テープ込み)	407 (307)	425 (316)	521 (435)
点字図書	27 (19)	25 (14)	59 (29)
点字雑誌	139 (0)	132 (0)	102 (0)

他館への貸出	H25	H26	H27
デージー図書	820	691	1,019
テープ図書	120	128	120
点字図書	30	10	18

【対面読書】

- 昭和57年10月から視覚障がい者及び加齢・病気に伴う視力の低下し活字が読みづらい方を対象に開始した。
- 対面読書の利用者数及び実施回数

	H25	H26	H27
利用者数	13名 (8館実施)	14名 (9館実施)	13名 (8館実施)
実施回数	362回 (8館実施)	390回 (9館実施)	420回 (8館実施)

【手話ブックトーク】

- 聴覚に障がいがある人を対象に、本の紹介や説明を手話で実施。
- 年に3回開催されている。
- 参加者数及び実施回数

	H25	H26	H27
参加者数	30	58	51
実施回数	3	3	3



【図書宅配サービス（郵便局のゆうパック又はゆうメール）】

- 平成26年7月から図書館利用登録をしている市内に在住、在学、在職の方を対象に開始した。
- 送料については自己負担。ただし、心身に障がい等のある方で、障害者手帳を所持されている方には軽減又は免除の適用がある。
- 宅配サービスの利用登録者数及び貸出件数

	H26	H27
利用登録者数	23	37
貸出件数	389	480

【聴覚障がいを持ち手話のできる職員を雇用】

- 手話のできる職員を3名（中央図書館2名・津田図書館1名）雇用している。
- 一般業務・カウンター業務・手話でたのしむおはなし会・手話ブックトーク・手話映像資料の製作、編集、収集などの業務を担当している。

【聴覚障害者のための利用案内】

- 聴覚障害者のための利用案内を作成し、2005年より貸出用に配架している。
- 作成は、当館の映像スタジオで編集している。
- 利用案内の作成は2作。最初は聴こえる職員に手話を教えながらの収録のため手話が読みづらかった。2作目はろう職員と手話の出来る職員で収録・編集を行った。
- 利用者からは、2作目の方がわかりやすいという声があった。ろう者と作ったものの方がわかりやすいと考えられる。
- 視覚障がい者に対しては、点字と録音用の利用案内を作成している。



【協力者】

- 「音訳協力者」「点訳協力者」「字幕挿入・編集協力者」に
対面読書・録音図書製作・映像資料の字幕挿入・手話の翻訳などの業務に協力してもらっている。

- 現在の協力者数は47名。

- 謝礼

- ①音訳協力者（41名）

対面読書	900円／1時間
図書の録音	300円／30分
録音図書の校正	100円／30分
デイジー編集	250円／30分
デイジー編集校正	100円／30分

- ②点訳協力者（1名）

- ・32マス17行両面打ち 1枚につき
点訳 60円
点訳校正 40円
- ・図形やグラフ・表 片面1枚につき
点訳 120円
点訳校正 40円

- ③字幕挿入・編集協力者（5名）

手話翻訳	840円／1分
挿入編集	420円／1分

【障がい者・高齢者サービスの現状】

- 正職員3名、特別職非常勤1名の4名で担当している。

- 苦慮している点

①読書のペースが速いへビュユーザーへの対応。ご自身で本を選ぶ手段が少ないので、読書相談・資料案内等を通じてこちらが探して貸出しているが、読むペースがとても速いため、本選びに苦慮することが多い。

②利用者が増えない。PR不足と認識しているが、新規の利用申し込みが少ない。ただ、増えれば、一人一人に対して現在のような丁寧な対応ができなくなるという懸念もあり、ジレンマも感じる。

- 視覚障がい・聴覚障がい以外の障がいを持つ人へのサービスの拡充が課題。発達障がい者へのサービスについてはマルチメディアデイジーやLLブックは揃えているが、所蔵数が少ないため十分なPRができていない。今後は有効なPR方法を含め、サービスの充実を検討していきたいと思っている。

【各種サービスの周知及び連携】

●周知

- ① 対面読書サービス・聴覚障害者のための利用案内サービスについては、図書館案内パンフレットへの掲載・サービスのパンフレット・図書館ホームページへの掲載により周知している。
- ② 手話ブックトークサービスについては、チラシ・図書館ホームページへの掲載により周知するとともに、手話サークルやろう者団体関係などには直接周知を行っている。
- ③ 宅配サービスについては、図書館案内パンフレットへの掲載・サービスのパンフレット・チラシ・図書館ホームページへの掲載により周知している。

●連携

- ① 対面読書サービス・手話ブックトーク・聴覚障害者のための利用案内サービスについては、市の福祉担当部署と連携を行い取り組んでいる。
- ② 宅配サービスについては、郵便局と連携を行い取り組んでいる。



田原市図書館

〒441-3421
愛知県田原市田原町汐見5番地
TEL:0531-23-4946 FAX:0531-23-4646

人口：63,338人（H29年1月）

自分で本を読むことが困難な方へ

— 図書館から情報のかけ橋 —



にじいろサービス 利用案内

田原市中央図書館

にじいろサービス担当

電話 0531-23-4946

FAX 0531-23-4646

メール tosho@city.tahara.aichi.jp



http://www2.city.tahara.aichi.jp/section/library/pdf/guide_nijihiro.pdf

【サピエ】

- 平成23年からサピエサービスを開始した。
- 図書館を介しての個人利用登録者数は1名。
- ダウンロードした録音データ等の貸出実績

	H25	H26	H27
登録者数	0	0	8
貸出件数	0	0	17

【にじいろサービス】

(心身障がい・高齢・病気など、図書館を利用する上で障がいのある方へのサービス)

①対面朗読

- 平成25年から通常の活字を自分で読むことが困難な方。「図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条に基づく著作物の複製等に関するガイドライン」の利用登録相談項目リストでひとつでもチェックの入る人を対象に開始した。
- 対面朗読の利用者数及び実施回数

	H25	H26	H27
利用者数	2	0	0
実施回数	6	0	0

②音訳ボランティア養成講座

- 初級が隔年22回、実践が年22回開催し、受講された方のうち19名が現在ボランティアとして在籍している。
- 講座の受講者数・実施回数

	H25		H26		H27	
	初級	実践	初級	実践	初級	実践
受講者数	5	11	/	10	7	8
実施回数	24	25	/	21	20	20

③郵送サービス「視覚」

- 平成14年から田原市内在住、在勤、在学で、視覚障害1～6級の身体障害者手帳を持っている方を対象に開始した。
- 郵送費用については無料で行っている。
- 郵送サービス「視覚」の利用登録者数及び貸出件数

	H25	H26	H27
利用登録者数	6	4	7
貸出件数	309	299	380

④郵送サービス「心身」

- 平成27年から田原市内在住、在勤、在学で、身体障害者手帳1、2級（内臓障害は3級）か、療育手帳A・B判定の方を対象に開始 ※平成26年以前は配達をしていた。
- 郵送費用については無料で行っている。
- 郵送サービス「心身」の利用登録者数及び貸出件数

	H25	H26	H27
利用登録者数			1
貸出件数			60

⑤郵送サービス「聴覚」

- 平成28年（受入自体は平成26年度から）から田原市内在住、在勤、在学で、聴覚障害1～6級の身体障害者手帳を持っている方を対象に開始した。
- 郵送費用については無料で行っている。
- 郵送サービス「聴覚」の利用登録者数及び貸出件数

	H25	H26	H27
利用登録者数		0	0
貸出件数		0	0

【元気はいたつ便「回想法」】

- 平成23年から来館が困難なお年寄りや障がいがある方のために介護福祉施設5箇所（平成27年度）を訪問している。
- 元気はいたつ便「回想法」の実施回数・参加人数（延べ）

	H25	H26	H27
実施回数	14	13	11
参加人数	171	111	138

【元気はいたつ便「元気プログラム」】

- 平成23年から来館が困難なお年寄りや障がいがある方のために介護福祉施設12箇所（平成27年度）を訪問し、レクリエーション、団体貸出を行っている。
- 元気はいたつ便「元気プログラム」の実施回数・参加人数（延べ）

	H25	H26	H27
実施回数	27	27	35
参加人数	690	554	865

【ボランティア】

- 元気プログラムの手遊び、うた、ゲームのリード及び補助、傾聴についてはボランティアに依頼している。
- 現在のボランティア数は11名。

【障がい者・高齢者サービスの現状】

- 職員体制について
 - ・障がい者サービス（にじいろ・医療）図書館司書【市役所職員1、嘱託職員4】
 - ・高齢者サービス（元気はいたつ便）図書館司書【市役所職員3、嘱託職員3】
- 貸出資料の汚破損等にかかる弁償の取扱いについて苦慮している。
- 今後、手話のお話会、バリアフリー映画会に取り組む予定である。

【各種サービスの周知及び連携】

●周知

- ①サピエサービス・対面朗読サービス・郵送サービス「視覚・心身・聴覚」については、サービスのパンフレット・図書館ホームページへの掲載により周知している。
- ②音訳ボランティア養成講座については、チラシ・図書館ホームページへの掲載により周知している。
- ③元気はいたつ便「回想法・元気プログラム・団体貸出」については、サービスのパンフレットにより周知している。

●連携

- ①サピエサービス・元気はいたつ便「元気プログラム・団体貸出」については、高齢者施設と連携を行い取り組んでいる。
- ②郵送サービス「視覚・心身・聴覚」については、市の福祉担当部署と連携を行い取り組んでいる。
- ③元気はいたつ便「回想法」については、高齢者向けの生涯学習講座・高齢者施設と連携を行い取り組んでいる。

